



健診の腹部超音波検査で「肝S5、肝血管腫疑い、6ミ大1個」と出ました。診断指示には「1年後(次回健診時)、腹部超音波の再検査を」とあります。どういことでしょうか。原因や治療法、日常生活上の注意点を教えてください。(61歳、男性)

肝血管腫の疑い

肝臓に脂肪ためない工夫を

肝臓は大まかに右葉と左葉に分かれます。S5というのは右葉の一部で右の前の方にあり、そこに6ミくらいの腫瘍が生じていることを示しています。

血管腫は肝臓の血管が異常に増殖し動脈と静脈の関係が崩れた部分が腫瘍になったも

大きさなどに差が出ないか、MRIやCTでどんな所見が得られるか、B型やC型肝炎などに知らない間に罹患していないかを調べるのが通常だと思います。

今回の場合は、同じ施設で数年前に超音波検査を受けており、大きさや形状に前回と

年後の再検査という指示になったのかもしれない。

血管腫の原因は先天性の血管形成異常、ホルモンバランスの変化(女性に多い)、肝臓の炎症、外傷や手術、肝硬

変や慢性肝炎など肝疾患による障害とされていますが、判断とできません。確立した予防

(脂肪肝炎の合併)があれば大きくなったり、数が増えたりしやすく、食へ過ぎや運動不足、夕食後すぐ寝るといったことは避けるべきでしょう。

(兵庫県医師会、菅野雅彦 姫路市、すがの内科クリニック) ◇第1、3、4日曜に掲載

ので、良性に分類されます。肝臓の腫瘍では最も多く、健診でよく見つかります。ただ初めて発見した場合は、1センチ以下でも他の腫瘍(特に悪性の肝臓がんや転移性の肝がん)の除外も含め、通常は3〜6カ月以内に再検査の指示が出ます。超音波の再検査で

比べて大きな変化がなかったのではないのでしょうか。または典型的な血管腫の画像が得られたのかもしれない。実際には脂肪化を伴う高分化型肝がん、肝腺腫、結節性過形成などとの鑑別は難しいのですが、これらは通常、短期間で著しい変化がないため、1

策はなく、これらの状況を避けるといったところでしょうか。経過観察が重要で、大きくなると吐き気や腹部の張り、血液の凝固異常が出ることもあり、その場合は切除術や動脈塞栓術などが考慮されます。

肝臓に脂肪が蓄積する状況